

東京商工会議所総がかりでの キャリア教育支援活動の実践

平成25年2月19日

東京商工会議所

本日も説明する内容

1. キャリア教育支援活動をはじめた経緯
2. 東京商工会議所における取り組み事例の紹介
 - (1) 教育・人材育成委員会活動を通じたキャリア教育の推進(本部)
 - (2) 地域ので次世代を担う若者を育てる
「教育支援プログラム推進事業」(墨田支部)
 - (3) 小学生と未来の職業をむすぶ「夢サポート事業」(豊島支部)
 - (4) 先端科学技術に触れる「自然科学フォーラム事業」(荒川支部)

1. キャリア教育支援活動をはじめた経緯

政府の動き

- 第1次安倍内閣は、わが国の最重要課題として「教育再生」を掲げ、2006年12月に道徳心や自律心、公共の精神など新しい時代の教育の基本理念を明示する教育基本法の抜本改正を行った。
- 安倍内閣の下に設置された教育再生会議は2008年1月、わが国の教育のあり方を根本から見直すとともに、教育再生の実効性を確保するため、社会総がかりで教育再生に取り組む必要性を訴える報告書を取りまとめた。

日本商工会議所の呼びかけ

- 日本商工会議所(会頭＝岡村 正・㈱東芝相談役)では、2007年4月、市民、企業、NPO、各種団体等による社会総がかりでの教育再生の中核としての役割を商工会議所が担うことを内容とする「教育再生に関する意見」をとりまとめ、全国の商工会議所へ取り組みを呼びかけた。
- これを受けて、現在、全国で267商工会議所がキャリア教育支援活動の具体的な取り組みを進めている。

東京商工会議所の取り組み

- 東京商工会議所(会頭＝岡村 正・㈱東芝相談役)においては、本部では教育・人材育成委員会を中心に、キャリア教育の推進策等について調査研究を行い、また、墨田支部(会長＝高橋 久雄・東京東信用金庫最高顧問)、豊島支部(会長＝鈴木 正美・㈱末広サービス会長)、荒川支部(会長＝南雲 芳夫・三芳建設㈱社長)ではインターンシップ事業をはじめ、商工会議所ならではの取り組みを具体的に展開している。

2-(1)教育・人材育成委員会活動を通じた

キャリア教育の推進(本部)

- 1993年からキャリア教育の推進策等について、定期調査を行いながら調査研究。教育基本法改正などの動きに対し産業界の立場で意見・要望活動。
- 近年は、都立高校教員採用試験の面接官の選任や教員のインターンシップの受入先の開拓にも協力。

事業の概要

■1 教育・人材育成委員会で、社会総がかりでの教育再生に関する調査研究、意見・要望活動(1993年～)

(ア)キャリア教育の推進策等について調査研究

(イ)教育基本法改正や文科省中央教育審議会における意見陳述等

2-(1)教育・人材育成委員会活動を通じた キャリア教育の推進(本部)

■2 キャリア教育を行うことができる都立高校教員の発掘・育成

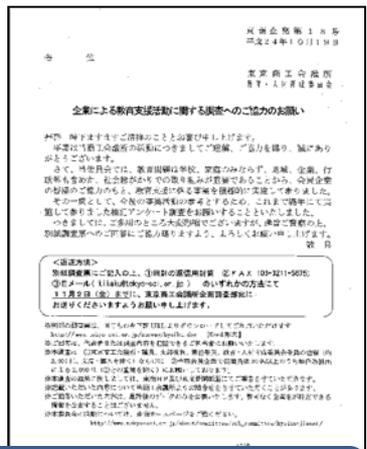
- (ア) 都立高校教員採用試験の面接官の選任(2000年～)
 - ・面接官選任数59人(2012年実績)
- (イ) 教員歴10年目の都立高校教員のインターンシップ受入先の開拓(2002年～)
 - ・受入企業数18社、受入教員数66人(2012年実績)

■3 企業における教育支援活動に係る定期調査の実施(2006年～)

- (ア) 企業が行うインターンシップや、授業で使用する教材の提供など、教育支援活動の実態や課題等について隔年で調査。調査結果に基づき、取り組みを改善・拡大。
- (イ) 特に2012年は、就職を希望する大学生と、採用を希望する中小企業を直接結ぶための調査を新規に実施。



義務教育初の民間人校長となった杉並区立和田中学校・前校長の藤原和博氏を招き、教育改革について論点を整理



教育再生に関する意見等とりまとめ

2-(2) 地域ので次世代を担う若者を育てる 「教育支援プログラム推進事業」(墨田支部)

- 学校と企業の間をとりもつコーディネーターとして、社会人に必要なマナー、職業観の醸成、ものづくりの大切さなどを学ぶための講師を学校へ派遣(東商版「ようこそ先輩」)。
- インターンシップや工場見学の受入で、ものづくりの大切さと区内製造業の魅力を体感。

事業の概要

- 東商の会員企業から教育支援協力企業をネットワーク化。教育現場の要請に応じて講師を派遣し、「職場体験事前学習(マナー講習)」「中学生のハローワーク」「ようこそ！地域の先輩」など様々なプログラムを展開。区内の製造業への理解促進やものづくりの魅力を体験させることを目的に、工場見学やインターンシップ受入先を開拓し、仲介。(2010年4月～)

・実施回数19回、延べ派遣講師数72名

2-(2) 地域ので次世代を担う若者を育てる 「教育支援プログラム推進事業」(墨田支部)

感動の声

実際に職業に就いている人の生の声、本音を聞くことができ、自分の将来について考えることができた。
(中学2年生)



職場体験前の「マナー講習」で登録講師から社会人マナーを学ぶ



ようこそ！地域の先輩
東商役員企業の経営者などからものづくりの楽しさなどを学ぶ



中学生のハローワーク
第1線の社員などから仕事のやりがいを聞き、自分の将来を考える

2-(3)小学生と未来の職業をむすぶ

「夢サポート事業」(豊島支部)

- 夢の職業にフォーカスをあて、スケジュールの確保が難しいプロサッカー選手、プロ野球選手、プロダンサーなどを会議所のネットワークにより招聘。
- 「憧れの職業人」と交流させることで、未来の夢を実現に近づけることをお手伝い。

事業の概要

■小学生が憧れの職業につけるように、東商豊島支部青年部の「若手経営者」が中心となり、スケジュール確保が極めて難しいプロサッカー選手やプロ野球選手など「プロの職業人」を確保し、直接交流する活動を展開。(2002年12月～)

・実施回数17回、延べ参加者数3,500名

2-(3)小学生と未来の職業をむすぶ

「夢サポート事業」(豊島支部)

感動の声

学校生活では出会えないJリーグコーチから直接教えてもらい、感動した。(小学5年生)



夢を育むFC東京コーチを
招いたサッカークリニック



子どもたちに大人気の
キッズダンス教室

2-(4) 先端科学技術に触れる

「自然科学フォーラム事業」(荒川支部)

○製造業が集積する荒川区において、将来の技術者を
目指す若者の育成、区内産業・技術の継承を目的に
実施。

○PISA調査(OECD学習到達度調査)でも低下が目立
つ理数系の学力向上を目指し、東大において先端科
学研究者から特別講義を受ける。

事業の概要

■東京大学キャンパスにおいて、海外でも活躍し、先端科学の第一人者である早野龍五教授から、ヒッグス粒子、放射線、皆既日食など最近話題となった最先端の科学を学ぶ。(2007年7月～)

・実施回数6回、延べ参加者数290名

2-(4) 先端科学技術に触れる

「自然科学フォーラム事業」(荒川支部)

驚きの声

科学的な発見により宇宙への考え方が変わることを知った。これからの発見に対するニュースを見る目が変わった。(中学1年女子)



終了後、早野教授に押し寄せる生徒。科学への興味が高まる！



ヒッグス粒子、放射線、皆既日食など最近話題のトピックスが題材！

東商ではこれからも、社会総がかりでの教育再生の中核として、教育支援活動を展開していきます！

ご清聴ありがとうございました

東京商工会議所